

K011

- T: はじめまして。  
 I: はじめまして。  
 T: はじめまして。  
 お名前は？  
 I: 【I (姓・名)】と申します。  
 T: 【I (姓)】？  
 I: 【I (ミドルネーム)】。  
 T: 【I (ミドルネーム)】。  
 I: 【I (名)】。  
 T: 【I (名)】さん。  
 私はどう呼んだらいいですか？  
 I: 【I (ミドルネーム)】でいいです。  
 T: 【I (ミドルネーム)】さんでいいですか？  
 I: はい。  
 T: はい。  
 私【T (姓)】といます。  
 I: あ、よろしくお願ひします。  
 T: よろしくお願ひします。  
 あ、あの、えー、【I (ミドルネーム)】さんは出身はどちらですか？  
 I: え、ブラジルです。  
 T: ブラジルですか。  
 I: はい。  
 T: うーん、ブラジルのどちらなんですか？  
 I: えー、サンパウロ州の田舎町なんですけれど、ま、小さな町〈ふーん〉。  
 T: 私ね、ブラジル言ったことないんですね。  
 I: あ。  
 T: そ、その、サンパウロ州の小さい町とおっしゃってましたけど。  
 I: はい。  
 T: 名前は、な、あ、な、どんな名前ですか？  
 I: 【町名1】っていう町。  
 T: 【町名1】、ふーん。  
 I: はい。  
 町です。  
 T: そ、その町のことについて教えてくださいませんか？  
 I: まー〈うん〉、あの、えー、養鶏場を持っている方がたくさんいらっしゃるって〈へー〉、はい。  
 えー、牛とか、ま、鳥、卵の生産とか、今、うーん、ま、町というより、こう、あの、え、牧場とかそういう〈うん〉のが多いです〈ふーん〉。  
 T: 牧場多いんですね。  
 I: はい〈へー〉。  
 T: で、え、【I (ミドルネーム)】さんは、あの、いつ日本にいらっしゃったんですか？  
 I: えー、8年前になるんですが〈ほー〉、えー、今まで今年の2月まで仕事をしていました。  
 T: あー、そうですか。  
 I: はい〈ふーん〉。  
 会社でずっと勤めていました〈あ、ふーん〉。  
 ま、このまま日本で暮らすと決意したので〈はい〉、うーん、日本語を勉強することにしました。  
 T: あ、ということは、今まで、その、えー、日本語は学校に行つて勉強してたわけじゃないんですか？  
 I: あ、それまでは〈うん、うん〉、学校行ったことなかったです、日本語学校。  
 T: あー、そうですか。  
 I: はい。  
 あの、両親が、えー、日本人なので、ま、えー、母が日本、日本から、えー、13歳の時にブラジルへ渡

K011

って、で、母とはポルトガル語が通じるので、あまり日本語を使わなかったんですけど。

T: あ、そうですか。

I: で、日本に来て、ま、え、会社が、ま、日本人がたくさん居る会社ですから、日本語使うようになって。

T: あ、なるほどね。

I: で、ま、あの、合間にあの平仮名とか片仮名を勉強して、少しずつ漫画とかも読み始めて、で、ま、8年間そうやって〈あーなるほどね〉、身に付きました。

T: 日本にいらっしやった、こう、きっかけとか何かあったんですか？。

I: ま、えー、ま、最初は出稼ぎで来たんですけど。

ま、2年仕事して帰るつもりだったんですが。

T: あ、そうですね、うん。

I: もう、ずっと〈うーん〉、そのまま〈うーん〉、日本に。

T: で、その8年間はあの、え、最初はど、どこに？。

I: えー、最初は【県名1】の【町名2】っていうところ。

T: 【町名2】。

I: 【町名2】。

T: あ、【町名2】、ふーん。

I: はい。

で、【市名1】に近い所で。

T: あ、そうですか。

I: はい〈ふーん〉。

で、あの、電気、えー、電気製品を作ってる会社で〈うん〉【会社名1】〈うん〉のカメラ〈うんうん〉を、の、えー、組み立て〈うん〉をやりました〈ふーん〉。

それで、その後は【県名2】の〈ええ〉え、【市名2】〈はい〉に移ってきて〈うん〉、えーま、7年間ずっと〈ふーん〉同じ会社で働いてました。

T: あー、なるほど。

I: はい。

T: その【県名1】【市名3】と、その【市名2】と比べて〈はい〉何か違うところ、似てるところありますか？。

I: うーん〈うーん〉、あの、え、【町名2】は、あの、え、海に近くて〈うん〉、え、魚とかとても安くて〈ふーん〉新鮮で〈ふーん〉、私、魚が大好きなので。

T: あーそうなんですか。

I: はい〈ふーん〉。

で、ま、田んぼとかもたくさんあって〈うん〉、うーん、田舎町だなと〈ふーん〉、か、感じてました〈ふーん〉。

でも、え、私は田舎育ちなので〈うん〉、ま、あの、いい町だなと思ってました〈ふーん〉。

で、【市名2】は、あの、ま、大きい町ですから〈うん〉、ちょっと、うーん、最初はちょっと、えー、ま、慣れるまで〈うん〉時間かかりましたけど〈うん〉、でも、ま、慣れたら〈うん〉、いい所だなんて〈うん〉思っていました。

T: その慣れるまで時間がかかったっていうのは、あの、どんなことが、ちょっとこんなに難しいことがあったんですか？。

I: はい？。

T: その慣れるまで、その【市名2】でね、時間がかかったておしゃってましたけど。

I: あ、あの、町で、うーん、ブラジルでも〈うん〉田舎住んでましたから〈うん〉、町の人がたくさんいたりとか、車の量が多いとか、そういう慣れるまで、ちょっと。

T: なるほどね。

あの、やはりブラジルに住んでらして〈はい〉、えーと何歳までブラジルにいらしたんですか？。

I: 23歳まで。

T: あ、23歳までいらっしやったんですね。

I: はい。

T: はい。

K011

で、ま、23歳で、8年前に日本にいらっしやったっていうことで、あの、日本のね【市名2】に結構若者いると思うんですけども、その、ブラジルの若者と比べてみて、なんか、なにか、こう、元気が無いとか、

なんかそういうことを思いますか？。

うーん、比べてみて何かこう違うところとかありますか？。

I： うーん、そうですね〈うん〉。

あの一、日本の若者は〈うん〉ブラジル人と比べて〈うん〉、あの、とても真面目で〈うん〉、えー、がんば、〈あー〉頑張り屋だと思います〈ふーん〉。

うーん、ま、え、長年居て私も少し変わったんですが〈うん〉、ほんとに今考えると、ブラジル人って適当だなと感じます、何やるにしても、はい。

日本人は何でもきちんと、えー、ま、時間も守るし〈うん〉、まあ言ったことちゃんと守りますし。

T： あー、なるほどね。

I： はい。

T： あ、あの、そういった面では、その、ブラジルの方は、じ、あん。

I： あー、はい。

時間はあまり守らないですね。

T： あー、そうですね。

で、その、に、日本人っていうのが、その、確かに真面目ですけども〈はい〉、どうもこう真面目過ぎて〈はい〉、仕事をし過ぎて過労死とか。

I： そうですね。

T： 結構自殺とか多いですよ。

I： はい。

T： そのことについてどう思いますか？。

I： そうですね〈うーん〉。

あ、あの、ま、真面目過ぎても、多分、えー、え、疲れる、疲れてしまって自殺とかうつ病とかになったりしてると思うんですけど。

ま、ブラジル人は何でも深く、あの、考えないから、だから、その面ではブラジルの方がいいかなと思います。

あの、人々は、ブラジル人は、あの、えー {咳} えーま、何でも気楽で、気楽に思っていて、あまり深くこう考えないから、ま、生活面ではいいと思います。

T： うーん、じゃ、深く考えなくて生活面がいいというのをもうちょっと教えてくださいませんか？。

どういったことですか？。

I： もっと幸せに、あの、えー、生きられると思います。

あまり、うーん、日本人のように将来のこととかあんまり考えないで、毎日、毎日、こう、いちんちいちんち [一日一日] その日のことだけを考えて生きているみたいな、一日を精一杯生きてるような感じです。

T： 一日をね、精一杯生きるっていいことだと思うんですね。

I： はい。

T： 日本でね、確かに真面目な人もいますけども、今ニートとか引きこもりとか、こう、何て言うんですか、やる気がない、気力がない人が一杯居るんですけども、今問題、社会問題になってますよね。

そのことについては、ブラジルの人たちの方がそういうことが無いんじゃないかと思うんですけど、どうでしょうか、ニートは？。

I： そうですね。

ブラジルには無いですね。

あの、ま、あんまり自殺とかもあんまり無いし〈うん〉、引きこもりとかも聞いたこと無いです〈ふーん〉、ブラジルでは。

T： でも、むしろあの一【I (ミドルネーム)】さんが〈はい〉、その、そういったブラジルのいい面を、その日本のその教育をね、も、文部科学省ってあるんですけども、その人たちにこう例えば自殺とか、そのニートとかこう日本でいろんな社会現象、あんまり良くないものもあるんですけども、何かそのアイディアを、その、日本のその教育関係の人に話すとしたら、どんないいこうアドバイスをしてもらえますか？。

I： うーん、あの、外国に行って、少し異文化体験とか、えー、ま、えー、色々人生の有難さとかを感じ、感

K011

じれば、自殺とかそういうこと考えないと思います。

あの、ま、外国に行くと、あの一、え一、ほんとに、え一、ま、言葉が通じなかったりとか、色々大変なことがあるので、それを一所懸命、ま、乗り越えるために頑張っていると、なんか、こう、強くなれるんじゃないかなと。

T: ふ一ん、なるほど。

I: はい。

T: てことは、まず旅をさせるってことですね。

I: はい、そうです。

T: ふ一ん、なるほど。

あの、ちょっと話題変わりますが、あの、え一、【I (ミドルネーム)】さんは、なにか趣味、好きなこととかありますか？。

I: え一、す、え一と、すい、え一、水泳と絵を描くことが好きです。

T: あ一、そうですか。

I: はい。

T: 絵を描くことが好き なんですわね。

I: はい。

T: ふ一ん。

I: え一、子供の頃から。

T: あ一、そうですか。

なにか、例えば、好きなテレビ番組とか映画とかそういった本とかそういったことありますか？。

I: ん一、ま、テレビ番組は、ま、バラエティーとか、え一、ま、ドラマも見てます (ふ一ん)。

T: あ、ドラマ見てますか。

I: はい。

T: 最近、あの、これ面白くなっていうドラマありましたか？。

I: え一ろ、【番組名1】っていうドラマ。

T: あ一、そうですか。

I: はい。

あの、兄弟の物語なんですけど。

T: え一、ちょっとおし、私見てない、名前は聞いてるんですけどもタイトルだけ。

面白そうなんで、ちょっと私にも教えてくれませんか？。

どんなストーリーなのか、話。

I: え一、あの、事故で、あの、ま、お兄さんが「ケンジ」で、あの、妹が「ヤスコ」っていうんですけど、

え一、その、その二人の親が、え一、え一、交通事故で亡くなって、で、そのお兄さんが、ま、その妹を育てて、で、お兄さんが結構ま、二十歳ぐらいのときに、妹がまだ8歳ぐらいのときに、あの、両親が亡くなって、お兄さんが妹見ながら、なにか仕事できないかと色々考えて、あの、たどり着いたのが、あの、漫画家になること、で、で、そ、あの、ま、漫画かき、家で描きながら妹の面倒を見て、え一、で、今は、妹が高校生で、で、お兄さんがずっと漫画を描いて、で、お兄さんがあまりにも、あの、妹を守りたがるので、で、それを妹が嫌がって、お...

T: あ一、面白いですね。

I: はい。

T: え一、その、兄妹のは...

I: 兄妹の話です。

T: 話ですねー。

I: はい。

T: 今あの一、幼いころにね、兄妹はご両親を亡くされたをおしゃってましたけども、あの、最近その、一人一人の家族の環境が、例えばシングル・マザーになったりとか、あの一、若い、ま、例えば、も、高校時代、

中学時代に両親が離婚したりとかして、色々経済的にきつくなるがよくありますよね。

I: はい。

T: で、あの、え一、なかなかうまく仕事に就けなかったりとか (はい)、非常にこうワーキング・ペアとか

K011

ありますけども、そういうのを、その、ご覧になって、どう思います？。

日本のその若者が、非常に仕事に就けないという状況なんですけども。

I : うーん、そうですね。

えー、ま、家族、か、核家族から進んでって...

T : えー、そうですね。

I : でー、もっとう昔のように大きな家族で、こう、暮らした方がもっと子供たちを支えられるんじゃないかなと、あの、精神的にも。

で、えー、あんまり、その、一人で、一人で、えー、ま、例えば今、今の若者はあまり他人の助けとか要らなくなってますから、それで、あの、ま、えー、ま、一人になったり、ま、何か買いたいときはコンビニもあるし、お金惜しければアルバイトするし、あまりあの一、え、親のサポートとか、えー、家族のサポートとか、あんまり必要としてないからなんか、その、えー、しっかりした人間になれないのかなって思います。

T : そ、便利すぎて。

I : はい、便利すぎて。

T : ってことですねー。

I : あの一、ブラジルと比べると、あの、ブラジルでは、ほんとに、あの、ま、日本の方がブラジルへ行けば、

大変不便と感じると思います。

日本は24時間空いてるコンビニとかもあるし、ま、何でも簡単にあの、手の届くところにありますから、

ブラジルはその面では、あの、ま、近所の、えー、助けとか必要だし、んー、あの、日本のように一人なんでもできるという感じではないです。

T : うーん、なるほどね。

やっぱり助けが〈はい〉必要で、みんな助けてくれるという〈はい、そうです〉ことですよ。となると、その、日本だと、非常に孤独感...

I : はい。

T : を感じると思うんですけども、ただ、子どもたちがコミュニケーションしない方に向かっていると思うんですが、その、えー、お互いあまりコミュニケーションという日本人の若者について【I (ミドルネーム)】さんどう思いますか？。

こ、コンビニで食べて、一人でとか {笑}。

I : ま、それは、ま、日本人のあの性格とか、えー、その、何て言うんですかね、えー、あの日本、日本、日本人は、えー、遠慮するから、あまり人に迷惑かけたくないとかそういう気持ちがあるから、あの、だから、

えー、人に声掛けて、なんか迷惑かかるんじゃないかなーとか、あまり考え過ぎて、で、こ、何も言わないのかもしれない。

T : うーん、そうですね。

確かに、あの、迷惑をかけるということは、あの、よくない考え方の一つですよ。

I : はい。

でも、ブラジル人だったら、そういうことあんまり考えないで、迷惑かけるとかそういうこと考えないで、

ま、気軽に、あの自分が思っていることを、あの、自分がなにか欲しかったら、それをま、あの、え、例えば、道が分からなかったら、ま、すぐ誰かに聞いたりとか、自分で探そうとしなくて、だから、ま、コミュニケーションが、あの、そこで友達になったりとか、はい、ま、色々...

T : その、それでなかなかあの日本で迷惑をかけるとかいうことで、お互いにこう話さなかったりとか、こう黙ってたりしますよね。

それを、そのブラジル人のその、なんていうの、こう、え、気にしない、気にしないっていうと語弊ありますけども、そういうのをうまくこう、その、そうしなくてもいいのよっていうような、なにか若い人たちにこう【I (ミドルネーム)】さんが話す立場たとしたら、どういう風にして、もっとうコミュニケーション、とったらいのよっていえるでしょうかね。

I : うーん、あんまり深く考えないことだと思います。

K011

あの、正直に自分が思っていることとか、考えてることを人に、こう、あの、伝えることが、コミュニケーションに繋がります。

T: あー、なるほどね。

I: はい。

T: 親子関係では、あの、あまり日本では抱き合ったりしないですよ。不思議に思いませんか？。

I: そうですね。

ブラジルでは、あの、知らない人でも、ま、日本ではこう頭下げるのと同じ。あの、ブラジルでは顔にキス2回、ま、女性同士と、女性と男性はします。んーで、男性同士は握手だけなんですけど、はい。

T: それは、いいですね。

I: はい、で、ま、家族同士だと、あの、ハグをしたりキスをしたりします。

T: あーそうですか。

I: はい。

T: それは、かぞ、家族のこう絆にとってもいい影響がありますか？。

I: はい、そうですね。

T: ま、日本だとなんだか恥ずかしいなと思っちゃうんですけども。

I: あの、日本人は、あの照れくさいとか、そういう、ま、正直に自分の気持ちを伝えたり、あの、えー、体で、あの、伝えたりしないところがあまり良くないかなって思います。

T: 分かりました。

I: あと、はい、もっと、あの、感情を表して、表せばもっとこういいんじゃないかなと思います。

T: んー、なるほどね。

あの一、さっき、あの、趣味で、あの一、え、水泳ですかね。

I: はい。

T: 水泳と絵を描くこと〈はい〉とおしゃってましたけど、なにか他に興味あることありますか？。

I: あの一、ま、えー、細かい、えー、手であの物を作ったり、こう...

T: 何を作るんですか？

I: 紙とかで、ま、えー、カード。

あの、えー、誕生日の日にカードを送る。

そういうカードを作ったりするのが、はい。

しゅ、手芸っていうんですか？。

T: あ、手芸ね、はい。

I: そういうのは全体的に好きです。

T: はい、分かりました。

ではね、これからロールプレイというのをやりたいんですが。

I: はい。

T: 分かりますか？。

ミニ、あの、ミニドラマ、ロールプレイ、分かりますか？。

I: あー、はい。

T: はい。

えー、それで、その、今学校に行ってらっしゃるとおしゃ、いつてましたよね？。

I: はい。

T: そうゆうときに、あの、秋によく文化祭とかあるんですけども、今8月ですが、10月に文化祭があります。

I: はい。

T: ね、そこで、日本でとても有名で偉いね、偉いその手芸の、有名な人がいます〈はい〉。

で、とても偉い人です。

その人に、ところに行って、もちろん、あの最初電話して、行って、挨拶をして、初めて会うので挨拶をして、それであの学校でその先生を呼びたいです。

それで、うまく交渉して、あの、その文化祭に行けるように、あの、頑張ってください。

K011

- I : はい。
- T : 私がとてもえらい先生ですね, とてもとても偉いね, 先生ですから, ノックして, あの挨拶をして入ってください。
- それで, 話を交渉してください。
- 大丈夫ですか, 内容は?。
- I : はい, 大丈夫です。
- T : はい, はい, じゃあね。
- I : {ノックする} 失礼します。
- T : はい。
- I : あの, えー, 私, 【学校名1】の坂口と申しますが。
- T : 坂口さん。
- I : はい。
- T : はい。
- I : はじめまして。
- T : あ, はじめまして。
- I : あの, えー, えー, 10月の, えー, えー, 文化祭ですか?。
- T : 文化祭っていうのがあるんですか?。
- I : はい。
- T : ふーん。
- I : それで, あの, えー, 先生に出てもらいたいんですが, いただきたいんですが。
- T : えーと, それは, 10月のいつですか?。
- I : えー, 10月の, えー, 14日です。
- T : 14日。
- I : はい。
- T : はい, ちょっと待ってくださいね。
- あ, 空いています。
- あの, 私, どんなことをしたらよろしんでしょうか?。
- I : あの, 手芸に関しての, えー, ま, 話をしていただけたらと思ひまして。
- T : あー, 手芸に関しての話。
- 話すだけで大丈夫ですか?。
- I : あの, できれば何かを, えー, 作っていただければ幸いなんですが。
- T : あー, そうですか。
- どのくらい時間が, あの, え, あ, どのくらい時間が必要ですか?。
- I : 1時間ぐらひは, 大丈夫でしょうか?。
- T : 1時間ですか?。
- I : はい。
- T : えー, えーとね, 午後が空いてるんですけども, 午後2時とか, 2時って開いてますね。
- I : あー, じゃ, それで, あの, じゃ, 午後2時でお願いします。
- T : はい。
- どちらへ参ったらよろしいですか?。
- I : あの, えー, 【地名1】にある【学校名1】の1号館をお願いします。
- T : あー, そちらに, あの, 参ればよろしいんですね。
- I : あの, えー, 私があ, えー, えー, 入り口でお待ちしておりますので。
- T : あ, そうですか?。
- I : はい。
- T : じゃ, あの, えー, その一, え, 2時ですからちょっと前くらいに参ったらよろしいですかね, 2時前に?。
- I : はい, はい, そうですね。
- T : 分かりました。
- また, あの, 細かいこと色々〈はい〉ご連絡しますので, よろしくお願いします。

K011

I : よろしくお願ひします。

T : はい。

それで、今、また、日本語学校でね、手芸のサークルがあつて、とてもひたしい〔親しい〕男なのに手芸の好きな、あの、え、私の名前は【T (姓)】ですけども、【I (ミドルネーム)】さんが先生のところに行つたことを知つていて、電話をかけてきます。

どうだったか聞きますので、答えてください。

大丈夫ですか？。

I : えー。

T : もしもし。

I : もしもし。

T : 【I (ミドルネーム)】？

I : はい。

T : うん、俺、俺、えー、【T (姓)】。

I : どうも。

T : うん。

あの、先生とこ、い、行つたんだつて？。

あの田中から聞いたけど。

I : はい、行つてきました。

T : どうだった？。

I : あの、えー、参加していただけるかと聞いたところ、あの、14日の2時に大丈夫だと、えー、返事を貰いました。

T : すごいねー、あの先生つて忙しくて、ちょっと神経質で、き、厳しいつて聞いたんだけど、そんなことなかつた？。

I : あー、そうなんですか。

あー、あの、ま、えー、関心を表したところ、えー、あの、ま、オッケー出してくれました。

T : えー、よ、よく頑張つたね。

I : はい、頑張りました。

T : で、あの、今、ちょうどアルバイト終わつたところなんですけども、一緒にご飯食べない？。時間ある？。

I : 今ですかー。

T : うん。

I : 今ちょっと友達と、えー約束があるので。

T : じゃ、またにしようか。

I : はい、すみません。

T : いえ、大丈夫、大丈夫。

あの、アポイントとれたからご馳走しようかなと思つたんだけど、うーん。

I : あー、じゃ、また今度。

T : そうね。

I : 行きましょう。

T : じゃ、今度にしようね。

I : はい。

T : はい、またねー。

I : またねー、ありがとう。

T : はい。

これで、あの、ロールプレイ終わります、はい。

で、今学校に、あの、行つてるんですね、【学校名1】にね。

I : はい、行つてます。

T : あー、そうですか。

I : はい。

T : なるほど。

K011

今日は、あの、お休みですか？。

I : あの、えー、授業が、えー、12時45分までなので。

T : あー、そうですか。

I : はい。

学校終わって来ました。

T : あー、そうですか。

じゃ、今日これからどうしますか？。

I : これから帰ります。

T : 帰るんですね。

あの、仕事は辞めたっておしゃってましたもんね。

I : はい、辞めました。

8年間ずっと仕事だけしてたので、ちょっと1年、あの、仕事しないで勉強だけにしようかなと思って。

T : じゃ、頑張ってください。

I : はい。

ありがとうございます。

T : はい。

じゃ、これでインタビューを終わります。

I : はい、どうもありがとうございました。

T : はい。